

# 千葉市感染症発生動向調査情報

2018年 第6週 (2/5-2/11) の発生は？

## 1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数	6週	5週	4週	3週
小児科	18	18	18	18
眼科	5	5	5	5
インフルエンザ*	27	28	28	28
基幹定点	1	1	1	1

上段:患者数

下段:定点当たりの患者数

「定点当たりの患者数」とは  
報告患者数/報告定点数。

定点	感染症名	千葉市					千葉県
		注意報	2/5-2/11	1/29-2/4	1/22-1/28	1/15-1/21	1/29-2/4
			6週	5週	4週	3週	5週
小児科	RSウイルス感染症		3	2	0	3	30
	咽頭結膜熱		2	0	2	0	37
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		36	52	23	37	395
	感染性胃腸炎		62	90	94	136	682
	水痘		3	3	2	1	24
	手足口病		0	1	1	5	4
	伝染性紅斑		0	0	2	1	5
	突発性発しん		7	5	5	9	29
	ヘルパンギーナ		0	0	0	0	0
	流行性耳下腺炎		1	0	0	5	15
インフル	インフルエンザ*(高病原性鳥インフルエンザを除く)	↓↓★★	1,383 51.22	1,806 64.50	1,619 57.82	1,432 51.14	13,691 63.98
眼科	急性出血性結膜炎		0	0	0	0	3
	流行性角結膜炎		5	0	5	5	22
基幹定点	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0	0	0	0	1
	無菌性髄膜炎		0	0	0	0	0
	マイコプラズマ肺炎		1	1	0	0	1
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0	0	0	0	0
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0	0	0	0	1

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

## 2 全数報告対象疾患(11件)

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	30歳代	病原体遺伝子の検出	結核	女性	80歳代	IGRA検査等
結核	男性	50歳代	IGRA検査等	レジオネラ症	女性	70歳代	病原体抗体の検出
結核	男性	50歳代	IGRA検査等	百日咳	女性	10歳未満	病原体等の検出
結核	男性	60歳代	画像診断等	百日咳	女性	60歳代	抗体の検出
結核	男性	80歳代	病原体等の検出	梅毒	男性	40歳代	血清抗体の検出
結核	女性	60歳代	IGRA検査	-	-	-	-

\*第6週は、結核7件(24)、レジオネラ症1件(1)、百日咳2件(3)、梅毒1件(5)の報告があった。

※ ()内は2018年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

## 定点当たり報告数 第6週のコメント

<インフルエンザ>前週より減少し51.22となった。流行発生警報開始基準値を上回ったままで、過去10年の同時期と比べると最多。

■ トピック ■

<インフルエンザ>

全国レベルの第5週は前週より更に増加し流行発生警報開始基準値(30.0/定点)を上回ったままで、過去10年の同時期と比べると最多となっています。都道府県別では大分県、埼玉県、福岡県の順で多く報告されています。千葉県は全国レベルと比べるととても多くなっています。

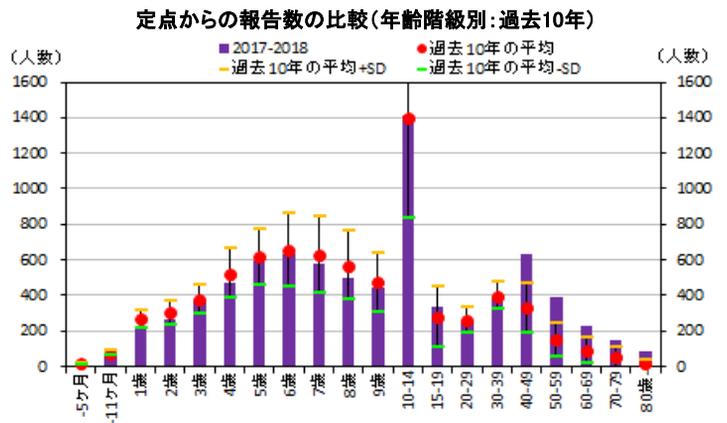
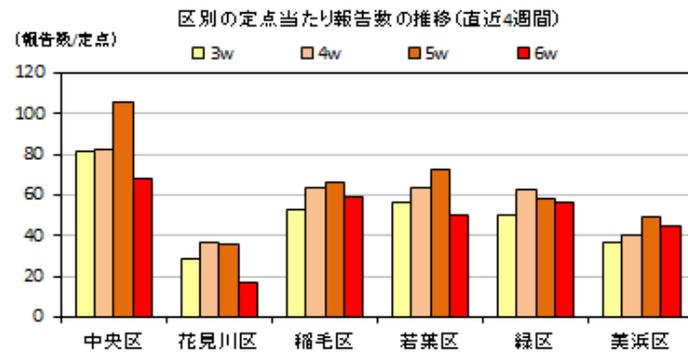
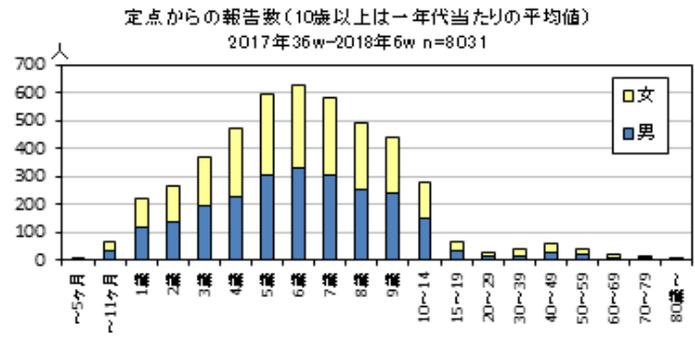
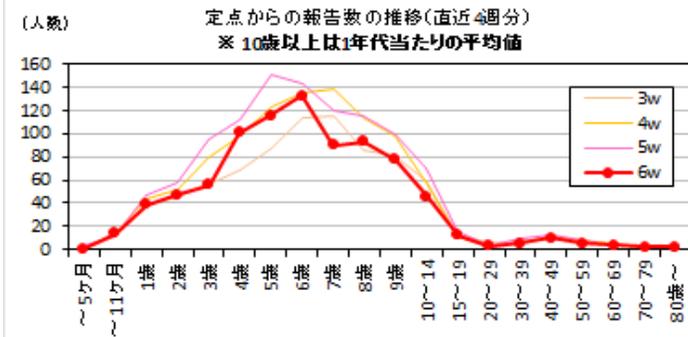
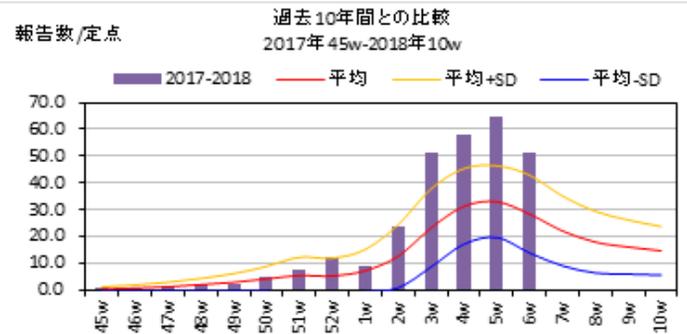
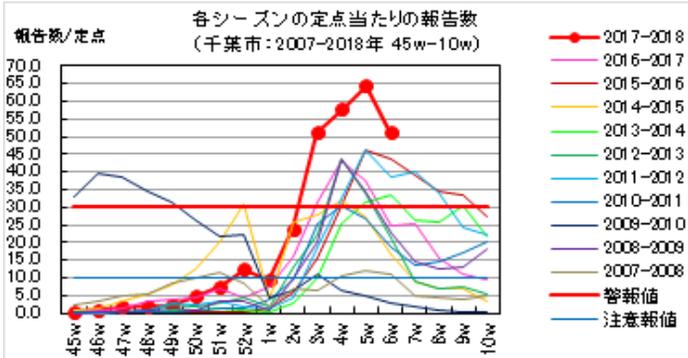
千葉市の2018年第6週は前週より減少し51.22となり、第3週の水準に戻りましたが、流行発生警報開始基準値を上回ったままで、過去10年の同時期と比べると最多で、依然として非常に大きな流行となっています。

区別の発生状況は、花見川区以外の全区で流行発生警報開始基準値を上回っており、中央区(68.2/定点)で最多、同区の10歳代前半で最多、一年代あたりでは6歳で最も多く発生報告がありました。

型別迅速診断結果では、第6週はA型が14.0%、B型が74.1%、その他A型及びB型が0.1%、A型又はB型が11.8%となっており、B型が7割以上を占めたままとなっています。

今シーズンである2017年第36週から2018年第6週までの累積報告数(n=8031)によると、性別では男女共に50.0%(4016名)で、年齢階級別の一年代あたりでは6歳(7.9%:631名)、5歳(7.4%:596名)、7歳(7.2%:581名)の順に多くっており、20歳未満は全体の73.6%、10歳未満は全体の51.7%となっています。

また、年齢階級別の過去10年の報告数との比較では、40歳代以上で平均+SDを、10歳代で平均を上回る状況となっています。



	第6週	市全体	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区
基準値超過		警報	警報	終息	警報	警報	警報	警報
過去10年の同時期との比較		最多	最多	やや多め	最多	最多	最多	とても多い
昨年の同時期との比較		多い	多い	多い	多い	多い	多い	多い